会報
# 松風

邇摩高ホームページ
http://www.shimanet.ed.jp/nima/

邇摩高Ｅメール
nima-hs@edu.pref.shimane.jp

発行所
島根県立邇摩高等学校
松風会

〒699-2301
島根県大田市仁摩町仁万907
TEL 0854－88－2220
FAX 0854－88－4417

## 幹事さんに感謝

松風会会長　大島　淳
昭和46年3月　普通科第22期卒業

平素より松風会の皆様には、邇摩高校発展のためにご支援いただき、誠にありがとうございます。

昨年は四月に熊本県、十月には鳥取県中部で大きな地震がありました。今後、日本国内でも高い確率で起こると予測される大地震。特にこの度は、備えの重要性を再認識させられました。

さて、今年も松風会総会が二月四日、大田市内で盛大におこなわれました。多くの卒業生にご参加いただき、改めて御礼申し上げます。

現在、邇摩高校の卒業生は、一万九千余名を数えます。地元はもとより、全国各地で卒業生のみなさんが活躍しておられます。松風会支部も、県内の大田、仁摩、温泉津、江津、松江、さらに関西、関東地区の七カ所に置かれています。

二月上旬に開催されている松風会総会は、いわゆる本部会と言ってもいいと思います。その取りまとめをやっていただいているのが校内事務局と、その年に大役を引き受ける「幹事さん」です。年齢で言えば、四十二歳になった年代になります。

今年の幹事さんは平成三年度卒の奥貴弘氏を幹事長とする十数名のメンバーでした。昨年末から精力的に動いておられました。

総会後の懇親会がパーティ券方式で行われるようになってから三十年近くなります。幹事さんは、一枚二千円のチケットを五百枚程度売りさばいたり、当日の会場設営やイベントの企画など大仕事がいっぱいです。

年一回のこの総会では、卒業生の方からいただいた会費の使途報告がメインになります。私は、重要な総会と同様に、世代を超えた卒業生が一堂に会し、校歌を大合唱することにも大きな意味があると日頃から考えています。

今年の総会、懇親会も素晴らしいものでした。これもひとえに、結束して汗を流していただいた幹事さんのおかげです。本当にありがとうございました。お疲れ様でした。心より御礼申し上げます。

最後になりますが、今後とも卒業生の皆様方のご支援ご協力を賜りますとともに、松風会の益々の発展を祈念致します。

## 仁万田台に「恵比須」舞う

校長・松風会校内事務局幹事長
三島一友

松風会の皆様には、平素より本校発展のために、物心両面に渡りご支援頂いておりますことに対しまして、厚く感謝申し上げます。

さて、本校は今年で創立百十三年の歴史を刻みました。平成七年に、それまでの農業科、商業科、情報処理科、温泉津分校家政科を募集停止し、単独総合学科に改編し五学級二百人定員で新たなスタートを切りました。

それから二十一年が経過し、平成八年度と平成十九年度にそれぞれ一学級減となり、現在は一学年三学級百二十人定員として、小さいけれど地域に輝く高等学校として注目を頂いております。総合学科改編後の社会情勢は厳しく、人口は大都市へ集中し、地方は少子化や高齢化の影響で、地域を支える担い手不足は深刻です。

現在の邇摩高校では、これらの社会情勢を生徒募集が難しいことへの言い訳とはしないこととしています。私達は、平成二十五年度に邇摩高校活性化プランを策定し、魅力と活力に溢れる邇摩高校の新たな創造を目指して取組を開始しました。

特色ある教育活動の一端を紹介すれば、総合的な学習の時間「銀の哲学」で取り組む邇摩高フェアを年三回実施し、地域課題の解決に向けて生徒が社長の模擬会社(ファイブ・スター・カンパニー)を創り、農業・ビジネス・生活・福祉・文化各系列で学ぶ九十人の社員が、それぞれの専門性を広く校外に発信することを目的に実施しています。平成二十八年度の来場者数は三回のフェアで二千人を超えて大田市の季節の風物詩となっています。この成果は生徒諸君の頑張りはもとより、卒業生の皆様、地域の皆様、保護者の皆様に厚い支持を頂いておりますおかげと、本当に有り難く感謝の気持ちで一杯です。改めて地域で育まれ愛される高校であると実感しました。

邇摩高校は魅力化に向けて様々な取組をする中で、生徒の考えや思いを直接聴きたいと思い、生徒会役員、農業クラブ役員、家庭クラブ役員が一堂に会して「邇摩高サミット」を新たな取り組みとして開催しました。議論は体育祭や文化祭の改善提案や地域伝統文化の継承を願う神楽部の創設等、様々な建設的で未来志向の意見を寄せてくれました。私達教職員は、このことを真摯に受け止めて議論し、解決を図らなければならない課題はあるものの、石見神楽同好会の発足を認めることとしました。これを受け十月四日に臨時生徒総会を招集し「石見神楽同好会」発足の議題が上程され、満場一致で可決されました。生徒の願いが叶った記念すべき瞬間であり、私は生徒が学校を変えるその場に立ち会えて高鳴る鼓動を抑えることが出来ませんでした。

その後、神楽歴四十五年の布施教諭が顧問に就き、部員十名で練習に励み十一月十九日本年度文化祭にて初舞台を迎えました。演目「恵比須」を堂々と舞う姿に、生徒、来場の皆様から大きな拍手を頂戴しました。三年生橋口君は「来場者全員を楽しませたかった。満足のいく舞台が披露できて良かった」と振り返り、部員一人一人の思いを胸に成功裏に終えることが出来ました。衣装や道具は全て借り物からのスタートです。ある部員は、石見地方の伝統芸能「石見神楽」を絶やしてはならないと語り、またある部員は、衣装や道具がなければ自分達で思いを込めて一針一針縫えばいいと語る。その姿勢にこそ育つ力があり、育てる力が邇摩高校には備わっています。

少子化、高齢化はどの地域にも大きな課題です。地域のために邇摩高校として何ができるか、大田市と手を取り連携を深めながら、更なる魅力ある教育活動を進めていきます。今後とも引き続き皆様の温かいご支援をお願いしてご挨拶といたします。

特集

# 地域で活躍する卒業生

昨年3月16日（水）に本校で実施された「進路デー」に、地元で活躍されている卒業生の姿がありました。過ぎし日に母校を旅立ち、社会の一員として働いていくということはどういうことであるかを熱く語る卒業生の姿に、在校生たちは目を輝かせ真剣に講話を聴いていました。平成26年度より始まった進路デーは本年度で3回目を迎えます（本年度は3月14日（火）に実施）。これからも、卒業生の皆様のご協力をお願いいたします。

また、昨年10月12日（水）から14日（金）の3日間、本校2年生の実施するインターンシップでも、地元でご活躍される卒業生の皆様にご協力いただきました。自分の進路を決める時期に差しかかった2年生にとって、学校とは違う環境の中で、自ら考え、実践したことで今年に迫った進路決定の良いきっかけになったことと思います。

これらの活動を通じて、卒業生に支えられている邇摩高校であると改めて感じました。

これまでに本校の教育活動にご協力いただいた卒業生の皆様へ、改めて御礼申し上げます。また、すべての卒業生の皆様へ、さらなるご活躍をご祈念申し上げます。

## 地元への思い

石橋　勇介

平成10年3月
総合学科第1期（3組）卒業
迩摩林業株式会社　専務

この度進路デーに講師として参加させて頂き、後輩にあたる生徒たちに現状からの素朴な質問や、社会人になってからの話、私自身の経験談を交えながらお話させて頂きました。

後輩の中にはただ話を聞くだけではなく、実際に体験する事や物事を見て、聞いて自分で学びながら行動していく事の大切さや、今まで生活を支えてくれていた家族や友達と離れ、自分自身で生活をしていく事の大変さなど、これから経験して行く話を後輩からの質問を交えながら話させて頂き、これから先の一助になれたのではないかと思います。

そして最後には地元で頑張っている人たちがいる事。学校や仕事により地元を離れてしまう人たちもいるが、いつか帰ってくる人、帰っては来られないが、自身の生まれ育った地元を気にかけ何かの役に立つ事を心がけてこれからの人生を歩んで欲しいと願いを込めてお話させて頂き、今後もこのような機会があれば良いと思いました。

## 仁摩町に生まれて

柳　拓也

平成10年3月
総合学科第1期（3組）卒業
柳商店　代表

平成九年度に総合学科の一期生として卒業し、地元企業二社で約六年の経験を重ね、二十五歳になる年に現在の事業を起業しました。

中学時代からいつかは会社経営をしてみたいと思っていたこともあり、総合学科を受験し、流通システム系列で、商法や簿記、マーケティング等を学び、必要な知識を修得したことが、現在の事業経営にとても役立っています。学校、学科の選択は良かったと思っています。

私は、生まれてからずっと仁摩町に住んでいます。一度は県外など外の世界を経験することも必要だとも思います。しかし、この仁摩町も人口減少や、事業所の減少など、年々寂しくなりつつあります。私は「地元愛」をもって商工会青年部の活動等で、地域活性化に繋がるような活動にも参画しています。皆様も「地元愛」をもって、帰りたくなる故郷となるよう、町づくりに興味をもっていただければ幸いです。

## 進路デーに参加させて頂いて

岡　拓朗

平成12年3月
総合学科第3期（1組）卒業
有限会社大田美装　勤務

私は、邇摩高校を卒業してから十六年になります。高校を卒業してすぐに大阪に行き内装業の仕事に就きました。二年半勤めた後、地元大田市でやっている家業の有限会社大田美装に入社しました。弊社は、内装工事の施工やカーテンの販売・取り付けをメインに行っております。また、青年経済団体である大田商工会議所青年部に所属させてもらいその中で、平成二十七年に行われた進路デーに講師として参加させて頂きました。

生徒達は話をとても真剣に聞いてくれ、質問などもあり、自分としても気付きやとてもいい刺激をうけました。

この進路デーをきっかけに、生徒の皆さんが色々な職業の話を聞き、未来を少しずつ形にしていき将来どのような仕事に就きたいかを考え、一歩一歩進んでいって欲しいと思います。

造園設計施工・庭園管理
植木生産販売・庭園材料販売
金藤緑化園
代表　金藤繁行（昭和46年卒）
〒694-0013　大田市川合町吉永　電話・Fax(0854)82-4119

有限会社
Marine Electronics CHUWA Shimane Japan
中和電機公司（こんす）
代表取締役　原　勝正（昭和38年普卒）
仁摩本店　大田市仁摩町仁万1798-23
浜田店　浜田市原井町908-15-102

## 進路デーに参加して

金田　真平

平成13年3月
総合学科第4期（2組）卒業
有限会社金田建築 専務取締役

私が、邇摩高校を卒業して15年を経て、平成27年3月に開催された、進路デーに講師として参加させていただきました。

私は邇摩高校を卒業後、県内の島根職業能力開発短期大学校に進学しました。短期大学校を卒業後は、建設関係の企業に数年間勤務し、ノウハウを養いました。企業を退職後に、地元大田市にて祖父の代から40年余り続いている家業であります、有限会社金田建築を継ぎ仕事をしています。

弊社は文化財修復・社寺仏閣・古民家再生・一般住宅の設計施工を行なっています。

進路デーでは、私自身も参加をして、高校生からの問い掛けに対して良い刺激をいただき、良い機会をいただきました。

職業は沢山ありますが、どの業種でも仕事をしていく上で資格は必要です。邇摩高校は総合学科という事で、色々な資格取得のチャンスが沢山有ります。在学中に取得できる資格にチャレンジして、将来の仕事に活かして欲しいと思います。

## 地域で活躍する卒業生として

河村　隆弘

平成13年3月
総合学科第4期（3組）卒業
有限会社河村畳店　勤務

邇摩高を卒業してから早いもので16年経ちます。卒業して2年間、茨城県にある畳高等職業訓練校に通い、職人としての技術を学びました。それから帰省し家業に従事しているのですが仕事の傍ら、いろいろな団体に所属しています。帰省して間も加入したのが商工会青年部です。ほぼ時を同じくして加入したのが石見神楽温泉津舞子連中です。メンバーの一人は邇摩高校石見神楽同好会に所属しています。どちらの団体にも邇摩高を出た仲間がいます。そこには同級生でなくとも誇りと一体感が生まれ、少なからず活動のエネルギーになっています。

9号線の行き来で学校の前を通ったり、進路ガイダンスなどを通して現役の生徒と接したりする機会があると、「がんばれよ」という気持ちになり、彼らにとって帰ってきたい、帰ってきて希望の持てる田舎を守っていかなくてはならないと感じます。

皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

## 進路デーに参加して

竹腰　賢一

平成17年3月
総合学科第8期（4組）卒業
有限会社たけごし家具　勤務

この度進路デーに講師として参加させていただきました。邇摩高校を卒業して12年になりますが久々の母校に懐かしさを覚えながら後輩にあたる生徒たちに私自身の仕事、現在に至るまでの経験談や質問を交えながらお話させていただきました。

私が話をさせていただいた後輩の皆さんは自分の進路をどうしようか迷っている方、進路や目標がもう決まっている方がおられ色々な質問をして下さり、その中で自分が感じた事や今までの成功談や失敗談をお話しさせていただき、無理して目標を見つけないで焦らず過ごしてほしいとお話しさせていただき、いつか必ず見つかる時が来るのでその時一生懸命頑張って下さいとお伝えしました。

そして最後に家族や友人、自分の周りにいる方々に対して感謝の気持ちを持って過ごしてほしいとお話しさせていただきました。

この度進路デーの講師をさせていただいた事で少しでも後輩たちのこれからの人生においてプラスになっていただければ幸いです。

最後になりましたが、今後母校の邇摩高校の益々のご発展を願っております。

## 進路デーでの様子

松浦　靖紀

平成18年3月
総合学科第9期（2組）卒業
れすとらんココット 店長兼製菓担当

早いもので、邇摩高校を卒業して約10年がたちました。邇摩高校を卒業後、広島にあるお菓子の専門学校で1年間勉強した後、大阪で6年間、お菓子や料理などの経験を積み重ね、約3年前に仁摩町に戻ってきました。

戻ってきた当初は、地域との繋がりも少なく、ある人の紹介で商工会青年部に入る事になりました。地域での様々な活動を手伝う中で、邇摩高校の進路デーでの講師派遣についてのお話を頂きました。

進路デーでは、職業に関する紹介や、自身の体験談などをお話させて頂きました。

後日、自分のブースに来てくれた生徒さんたちからお手紙が届き、「進路の役に立ちました。」「あきらめずに頑張りたい。」など、ありがたい言葉を頂く事ができ、少しでも生徒さんの役に立てたのかなと感じる事ができました。

今後も、地域での活動や営業を通して、地域に少しでも貢献できる活動をしていきたいと思います。

土地・建物・管理・仲介
島根県知事免許（6）第805号
永野不動産
宅地建物取引主任者　代表　永野雅博
（昭和43年普通科卒）
永野不動産　検索
〒694-0031　大田市静間町1038-1　☎0854-84-7700

イワタニ島根株式会社
取締役会長　石本智章（昭和37年卒）
代表取締役社長　小林　実
本　　社：大田市長久町長久ロ253－1
大田支店：大田市長久町長久ロ253－1
静間事業所：大田市静間町1053
仁摩営業所：大田市仁摩町仁万532－1
浜田支店：浜田市熱田町1456-1
江津支店：江津市渡津町978-8
グリーンガス支店：浜田市金城町七条イ659-8
益田支店：益田市あけぼの東町10-1
津和野営業所：鹿足郡津和野町後田ロ33

# 全国大会へ挑んだ生徒たち

●第63回全国高等学校 珠算・電卓競技大会●

## 全国大会で見つけた課題

3年2組　橋坂　唯さん

私は、昨年の8月2日に東京都で開催された平成28年度第63回全国高等学校珠算・電卓競技大会に出場しました。

私は、幼い頃からそろばんを習っており、そろばんが好きなので、邇摩高校に入学してからはビジネス部に入部し、「全国大会出場」を目標に日々頑張っていました。1、2年生の時は、普通計算は日頃から練習していたので得意だったのですが、ビジネス計算をしたことがなく、なかなか思うように計算を合わせることができませんでした。あと一歩のところで合わせることができず、何度も悔しい思いをしました。ですが、そこで諦めずに毎日練習をし、分からない問題があれば自分が理解できるまで教えていただいたことで、少しずつ解けるようになり、高校最後の年に全国大会に出場することができ、とても嬉しかったです。

大会参加の2か月前、松風会の激励会では、松風会会長から激励のお言葉をいただき、大会では納得いく成果を出したいということを誓いました。

大会当日は、あまり緊張をすることなく、いつもの練習の通りに落ち着いて競技をすることができました。しかし、力及ばず、自分の納得のいく結果を残すことができなかったことがとても心残りになりましたが、各都道府県代表の選手の素晴らしい競技を見たことで、自分にはない良い所をたくさん見つけることができました。

この大会に出場したことで、新しい発見があったり、今後の課題に気づくことができたりと、とても良い経験になりました。これからそろばんを続けていくための重要な材料になりました。今回の結果に満足して終わるのではなく、もっともっと上を目指して日々精進していきたいと思います。

代表として全国高等学校珠算・電卓競技大会に出場した橋坂さん

●第67回農業クラブ全国大会 クラブ員代表者会議●

## 情報共有の大切さ

3年3組　市原　哲哉さん

私は邇摩高校農業クラブの議長を務めています。昨年10月に、学校代表として第67回日本学校農業クラブ全国大会の代表者会議に参加してきました。

参加前の準備作業では、邇摩高校の農業クラブで行ってきた活動を他校の代表に伝えることができるように、今までのクラブ活動をクラブ員たちと振り返りながら、自分の考えをまとめました。

また、出発前には、松風会から激励式を開いて頂き、会長様から激励のお言葉と激励金の贈呈を受け、健闘を誓いました。

10月26日、27日の本番当日、会場の大阪府立農芸高等学校には全国から多くの代表が参加しました。

私は多くの参加者を前に、果たして自分の意見をしっかりと伝えることができるだろうかと不安になりましたが、学校代表としての自覚を持って臨みました。

事例発表では、あらかじめ各ブロックごとに分科会テーマが用意されていて、私たちのブロックでは「耕作放棄地や自然災害で農業を行えなくなってしまった土地に対し農業クラブ員にできることは何か」というテーマで発表を行いました。

私は農業クラブ大会に参加して、情報共有の大切さを学びました。発表では、それぞれの学校がテーマをもとに特色あるプロジェクトに取り組んでいました。中には、是非邇摩高校でも取り入れたいと思うものもありました。

これらの発表で見つけた良い要素をその場限りのことにするのではなく、邇摩高校の活動に取り入れ、邇摩高フェアをはじめ、邇摩高校のさらなる魅力アップに向けて取り組んでいきたいと思いました。

私は今年4月から、大田市にある農業関係の企業へ就職します。今回の経験を生かして、情報共有の大切さを伝えていくことで、地域を支える社会人としてこれからも努力していきたいと思います。

●第67回農業クラブ全国大会 農業鑑定競技会●

## 農業鑑定競技全国大会を振り返って

3年2組　足立　昌優さん

私は、10月26日から開催された農業クラブ全国大会に農業鑑定競技会島根県代表として出場しました。

大会にむけて、一日に約3時間、多い日は6～8時間勉強をしました。教科書や資料などをよく読み、要点をノートにまとめて覚えていく勉強をしました。

また、10月20日に松風会より激励式が行われ、松風会会長様から暖かい激励のお言葉を頂きました。私は、一緒に参加する市原君とともに精一杯頑張ることを誓いました。

大会当日、私は優秀賞を目指したい一心で大会に臨みました。会場には役員も含めて約1,000人が集まりました。会場も全国大会に相応しく、とても広く、大きな庭があり、全国大会の規模を実感させられました。

鑑定競技では、40問ほどの問題を解くのですが、3問選択肢がある中で、解答を迷っていると制限時間になり、すぐに次の問題へと移らなければなりません。問題を解いているうちに、あっという間に競技終了となりました。

終了後の感想は、とても早かったという気持ちでした。そして、もっと早い時期から勉強しておけばよかったという後悔の気持ちがこみあげてきました。また、終了後に問題公開があり自己採点しました。違う答えを書いた部分もあり、とても悔しかったです。

大会を振り返ると、色々な反省があります。勉強に取り組む時期の遅さや、多くの資料や教科書に目を通し、知識をさらに深める必要があると思いました。全国大会という大きな大会に参加し、他校の生徒がいかに勉強しているかということを思い知りました。とても長い時間、広い範囲を勉強していることを知り、自分も負けてはいられないと思いました。この経験を活かして、今後は自分の目標に対して精一杯の努力をしていきたいです。

松風会会長より激励金の贈呈を受け、健闘を誓う両名

借家の畳から 書院・茶室の最高級畳まで
畳のことなら何でもご相談下さい　あらゆるニーズにお応えします
島根県畳組合会員
島根県畳製作技能士会員
岡田畳店
岡　田　三　史（S52商業科卒）
〒694-0051　大田市久手町波根西2088-3
TEL＆FAX 0854(82)8504

㊊ 有限会社 小川商店
石油・運送・食品スーパー・不動産・飲食（路庵）
昭和40年度卒業生　小 川 良 知
温泉津町　㈲小川商店　代表取締役
Tel 0855-65-2636㈹

# 写真で見る邇摩高生

赤軍、青軍、紫軍の三分団に分かれ白熱した戦いに。仲間とともに友情を深め合った。

福祉系列２年生と出雲養護学校邇摩分教室のコラボレーションによる勇壮なソーラン節で始まり、
恒例のファッションショーや模擬店、催しなど大いに賑わいを見せた。

男女別、学年別になりグラウンドでソフトボール、体育館でバレーボールを行った。

３年生の遠足では、地元大田市の世界遺産・石見銀山への思いを感じてもらうため、
まずは他地域の世界遺産に触れてみようという目的で厳島神社へ

男子10km、女子７km、秋の仁万田台を駆け抜けた。

邇摩高校石見神楽同好会が発足しました！

POLA エステ in リブ（おおだ店）

美しいお肌のために充実のオールハンドエステ
『肌・こころ・からだ』トータルケアーのPOLA

ショップオーナー 市川 日登美
（昭和54年卒）

大田市大田町イ660-13
ハタノビル205
TEL 0854（82）1106

専門職、職場ユニフォーム、卸問屋

（株）原利商店

代表取締役　原　　大行（S34　普通科卒）

〒103−0003　東京都中央区日本橋横山町５−８
TEL 03−3661−6711
FAX 03−3661−0622
URL　http://www.harari.co.jp

# 邇摩高フェア

昨年、本校3年生が主となって実施する邇摩高フェアが開催された。邇摩高校全体を一つの会社として5つの系列がそれぞれの特色ある活動を行うもので、総合的な学習の時間を「銀の哲学」として、授業のなかで生徒たちが主体となって活動を行う。

生徒たちはオリジナル商品・サービスなどを開発して、大田市内でチラシ配りやポスター貼りなどの広報活動を行った。フェア当日には地域から多くのお客様が詰めかけ、大いに賑わいを見せた。

年間3回の実施があり、春の開催は4月29日(金)、夏の開催は7月23日(土)、冬の開催は12月23日(金)で、ウインターフェアでは体育館のステージ上で昨年10月に発足した石見神楽同好会による「頼政」、「恵比須」、「大蛇」が披露された。

ウインターフェア
福祉系列のハンドマッサージ

サマーフェア
農業系列の夏野菜販売

スプリングフェア
ビジネス系列の仕入商品販売

# 石見神楽同好会が発足

石見神楽を見て育ってきた生徒たちの思いが募り、実を結んだ

昨年10月4日の臨時生徒総会で、ある議題が提出され、満場一致で可決された。議題は「石見神楽同好会」発足の提案である。この議題は、邇摩高校魅力化の取り組みの一つ「邇摩高サミット」での提案の一つとして、地元の神楽社中に所属する生徒や、神楽を舞ってみたいという思いを持った3年生有志数名が発起人となり、実を結んだ。同好会顧問であり、自身も浜田市の長澤社中のメンバーである布施教諭は、「好きな神楽をとおして地域の方々とふれあい、地域への愛着を深めてもらいたい。」と語る。

同好会発足後、浜田商業高校や温泉津舞子連中などの協力を頂き、学校の内外で上演された。くにびきメッセでの全国総合学科教育研究大会を皮切りに、龍御前神社（温泉津町）のゆのつ温泉夜神楽定期公演、邇摩高フェア、仁万まちづくりセンターなどで上演され、今後も様々なイベントに積極的に参加していくとのことだ。

今後は校内外を問わず積極的に活動をしていくとのこと

こころにとどく 花キューピット 有限会社 福花園

FLOWER SHOP
Fukkoen
福花園
〒694-0064 大田市大田町イ259(大田駅前)
Phone(0854)82-6613
Fax(0854)82-7184

FLOWER BOUTIQUE
La Fille
ラ・フィーユ
〒693-0004 出雲市渡橋町334-1
Phone(0853)24-0087
Fax(0853)24-0089

代表取締役 福間君枝(昭和54年卒)

田平労務管理事務所
TABIRA Personal Management Office

社会保険労務士 安全衛生トレーナー 田平 律夫
社会保険労務士 田平 篤
(S58商業科卒)

〒694-0064 大田市大田町大田イ164-4
TEL(0854)82−5850・FAX 82−5851
E-mail:info@tabiraroumu.jp
http://www.tabiraroumu.jp/

# 支部だより

## 関東支部だより

### バトンタッチ・全力を尽くします!!

●来間哲朗
昭和48年3月　商業科第19期卒業
松風会関東支部長
東海大学医学部付属東京病院
事務部長

この度、松風会関東支部長を拝命いたしました来間哲朗（クルマテツロウ）と申します。昨年6月に開催されました関東支部総会におきまして、大島会長・原支部長よりご推薦いただき新支部長をお受けすることとなりました。

果たして支部長という責務を全うできるのか不安でいっぱいですが、皆様方のお力添えをいただきながら、貢献していきたいと考えています。

私は昭和48年卒で野球部に所属していました。学年としては大島淳会長3年、宮本春樹副会長2年、私が1年であり何事にも「ハイッ！」としか言えない厳しい時代でありましたが、その貴重な経験は懐かしくもあり、私自身の財産にもなっています。野球部から松風会と舞台は変わっても、この学年構図は永久不変ですね。

故郷を離れ40数年経ちますが、故郷そして母校への思いは変わることはありません。年の移り変わりとともに、関東在住卒業生の方々も減少傾向にありますが、そのような環境下においても屈することなく、年に一度の総会・懇親会におきましては、一人でも多くの方にご参集いただき母校を想い卒業生の絆を深めていける楽しい会にしたいと考えています。

長きに渡り松風会関東支部の運営にご尽力いただきました、原大行前支部長を中心とする昭和34年卒業の方々に心より敬意を表し、本年より若干若返りまして昭和40年代卒業生役員が結束しバトンを受け継いで参ります。何卒ご支援ご教示のほど宜しくお願い申し上げます。

前列　左より中木順三副支部長、原大行前支部長、来間哲朗支部長、安田秀臣副支部長
後列　左より鳥屋尾令子幹事、鈴木留美子幹事、下垣伸吉幹事

（新役員）
支部長　来間　哲朗（昭和48年卒）
副支部長　中木　順三（昭和43年卒）
　　安田　秀臣（昭和46年卒）
幹　事　鈴木留美子（昭和43年卒）
　　下垣　伸吉（昭和47年卒）
　　鳥屋尾令子（昭和48年卒）

## 関西支部だより

### 松風会退会のご挨拶

●渡辺　進
昭和30年3月　商業科第1期卒業
松風会関西支部顧問

松風会の皆様方には益々お元気にお過ごしの事とお慶び申し上げます。

2016年は地震・集中豪雨・大火等々自然災害が多発し、各地で多くの犠牲者や被害を被りました。

又、国際的にはイギリスのEU離脱、ロシアのウクライナ進駐、北朝鮮の度重なるミサイル実験や核実験、中国の南シナ海への進出、韓国の大統領問題等悩ましい一年でした。

今年はアメリカでトランプ大統領誕生で世界動向が良い方向に向かう事を祈るばかりです。

さて、松風会関西支部では毎年「支部総会と懇親会」を邇摩高から校長先生、松風会から会長をお迎えして開催して居りますが、参加者が殆んど固定された40名前後で推移、歴代支部長、幹事の方々のご努力にも拘わらず広がりが見られず残念です。

関西支部の従来の活動は東燃の卒業生激励会の要領で実施して居りましたが、渡津校長先生の代に新卒生を対象とせず、卒業年度を限定せず卒業生全般の会合にして欲しいとの申し出を受け現状の要領に変更と成りました。

当時私が支部長を拝命しており、会員名簿を頼りに県立邇摩高校26年卒以降普通科男女各2名、農業科～商業科男女各1名、合計600名の方にご案内しましたが、転宅等で未配返送が3割、返信なしが4割、欠席返信160名、出席回答は僅か20名と言った悲惨な状況からのスタートだけに、今後は同級生・友人・知人等々お誘い頂き多勢のご参加を願って居ります。

私は満年齢が80歳となり、体力的限界と成りましたので昨年の支部総会及び懇親会と今回の寄稿で松風会を退会させて頂きます。

永きに亘りご指導、ご協力頂きました事にお礼を申し上げ退会のご挨拶とさせて頂きます。

## 支部総会 ご案内

### 関西支部 総会

平成29年 **6月4日（日）11時開会**

**ホテル「ホップイン」アミング**

兵庫県尼崎市潮江1-4-1「JR尼崎駅北口から徒歩1分」

## 支部総会 ご案内

### 関東支部 総会

平成29年 **6月18日（日）12時開会**

**霞が関ビル35階（東海大学校友会館）**

東京都千代田区霞が関3-2-5

# 松風会総会・親睦会開催される

2月4日（土）、平成29年度松風会総会・親睦会が大田パストラルにて行われ、約100名の会員が一堂に会しました。総会ではじめに、大田市長の竹腰創一様よりご祝辞をいただき、その中で松風会の副会長を務められる岡田三史様がこの度、長年の技能の功績を認められ、厚生労働省より平成28年度卓越した技能者（現代の名工）に選ばれたことについて、お祝いの言葉を述べられました。総会の議事進行は、大島淳松風会会長が務め、提出議題はすべて承認されました。

御祝辞　竹腰大田市長様

田中前江津市長様による乾杯

続いての親睦会は、進行を平成4年3月卒業の幹事団の皆様が務め、乾杯のご挨拶を田中増次前江津市長様に行っていただきました。今年度のアトラクションは、和笑（なごみ）による「よさこいソーラン」の迫力ある演舞で盛り上がりました。

よさこい踊り

原前会長様による万歳三唱

親睦会の最中にはお互いの近況や在学時代の思い出を語り合うなど、卒業生会ならではの光景がみられました。

最後は恒例となった大島会長と奥野先生による校歌斉唱、原勝正前松風会会長様による万歳三唱で会が締めくくられました。

親睦会風景 約100名が参加

校歌斉唱の場面、応援歌のリクエストも

## 平成28年度　松風会年会費会計　決算書

（平成28年１月１日～平成28年12月31日）

Ⅰ.収入の部　（単位：円）

| 科　目 | 決　算　額 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 繰　越　金 | 2,062,278 | 平成27年度より繰り越し |
| 会　　費 | 856,000 | 年会費2,000円×428件、納入率36.5% |
| 広　告　費 | 50,000 | 会報広告料 |
| 計 | 2,968,278 | |

Ⅱ.支出の部　（単位：円）

| 科　目 | 決　算　額 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 会報発行費 | 411,690 | 会報松風47号、1,174部 |
| 振込手数料 | 51,000 | 貯金局会費振込手数料 |
| 繰　出　金 | 220,000 | 松風会一般会計へ |
| 計 | 682,690 | |

収入合計 ¥2,968,278 － 支出合計 ¥682,690 ＝ 残高 ¥2,285,588

平成28年度　松風会年会費会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

平成29年１月６日　　松風会監査　塩毛利 主

松風会監査　白坂正道

## 平成28年度　松風会一般会計　決算書

◆一般会計　（平成28年１月１日～ 12月31日）

Ⅰ.収入の部　（単位：円）

| 科　目 | 本年度予算額(A) | 決算額(B) | 増減(B-A) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 繰　越　金 | 46,464 | 46,464 | 0 | 平成27年度より繰り越し |
| 入　会　金 | 210,000 | 210,000 | 0 | ¥3,000×70名 |
| 会　　費 | 14,000 | 14,000 | 0 | ¥200×70名 |
| 寄　付　金 | 20,000 | 0 | △ 20,000 | |
| 他会計繰入金 | 220,000 | 220,000 | 0 | 松風会年会費会計より繰り入れ |
| 雑　収　入 | 30,536 | 30,008 | △ 528 | パーティー券売上益、貯金利息 |
| 計 | 541,000 | 520,472 | △ 20,528 | |

Ⅱ.支出の部　（単位：円）

| 科　目 | 本年度予算額(A) | 決算額(B) | 予算残額(A-B) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 会　議　費 | 5,000 | 2,717 | 2,283 | お茶代 |
| 旅　　費 | 230,000 | 229,710 | 290 | 関東支部総会（２名）、関西支部総会（２名） |
| 支部育成費 | 110,000 | 110,000 | 0 | 関東、関西、大田、仁摩、温泉津、江津、松江へ助成 |
| 事　務　費 | 70,000 | 49,127 | 20,873 | 卒業記念品、高校野球広告料、支部総会送料他郵券代 |
| 会館管理補助費 | 70,000 | 70,000 | 0 | 松風会館維持管理会計へ |
| 全国大会激励費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 珠算、農業クラブ |
| 予　備　費 | 16,000 | 0 | 16,000 | |
| 計 | 541,000 | 501,554 | 39,446 | |

収入合計 ¥520,472 － 支出合計 ¥501,554 ＝ 差引残額 ¥18,918（平成29年度一般会計へ繰り越し）

平成28年度　松風会一般会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

平成29年１月６日　　松風会監査委員　塩毛利 主

松風会監査委員　白坂正道

## 平成29年度　松風会一般会計　予算（案）

◆一般会計　（平成29年１月１日～ 12月31日）

Ⅰ.収入の部　（単位：円）

| 科　目 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 増減(A-B) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 繰　越　金 | 18,918 | 46,464 | △ 27,546 | 平成28年度より繰り越し |
| 入　会　金 | 267,000 | 210,000 | 57,000 | ¥3,000×89名 |
| 会　　費 | 17,800 | 14,000 | 3,800 | ¥200×89名 |
| 寄　付　金 | 10,000 | 20,000 | △ 10,000 | |
| 他会計繰入金 | 190,000 | 220,000 | △ 30,000 | 松風会年会費会計より繰り入れ |
| 雑　収　入 | 30,282 | 30,536 | △ 254 | パーティー券売上益、貯金利息 |
| 計 | 534,000 | 541,000 | △ 7,000 | |

Ⅱ.支出の部　（単位：円）

| 科　目 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 増減(A-B) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 会　議　費 | 5,000 | 5,000 | 0 | お茶代 |
| 旅　　費 | 200,000 | 230,000 | △ 30,000 | 関東支部総会（２名）、関西支部総会（２名） |
| 支部育成費 | 110,000 | 110,000 | 0 | 関東、関西、大田、仁摩、温泉津、江津、松江へ助成 |
| 事　務　費 | 70,000 | 70,000 | 0 | 卒業記念品、高校野球広告料、通信費他 |
| 会館管理補助費 | 70,000 | 70,000 | 0 | 松風会館維持管理会計へ |
| 全国大会激励費 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| 予　備　費 | 39,000 | 16,000 | 23,000 | 林(前々会長)葬儀 生花、弔電 |
| 計 | 534,000 | 541,000 | △ 7,000 | |

**事務局からの連絡**

会報松風は、邇摩高校ホームページでもご覧いただけます。
年会費の納入に御協力ください。

**http://www.shimanet.ed.jp/nima/**